

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）



公表： 2026 年 2 月 27 日

事業所名 放課後等デイサービス ウォルト

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	0	・怪我やトラブルが起こらないよう、人数の調整やチーム分けなどをし、少人数で行えるよう工夫しています。	・利用児童が一コマに集中しないよう調整したり、活動プログラムの内容を工夫します。
	2	職員の配置数は適切である	2	0	・運動療育を行っているため、人数の不足を感じることはありません。その際は活動内容の調整を行い、職員間の声掛けを頻繁に行いながら対応しています。	・基準に準ずる配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	0	・畳を使用しているため、ズレが生じると段差ができることがあります。その際はテープや新聞紙などで対策をしています。	・段差はなく車いすでも入室可能な環境です。しかし、畳のズレにより段差が発生する場合があります。児童の怪我に繋がらないよう、その都度、対策を継続していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	0	・朝礼や事業所ミーティングにて目標や問題は常に共有し、様々な視点からの話し合いができるよう工夫しています。	・職員一人一人が現状に満足せず、常に業務改善の意識を持ちます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	0	・日頃から保護者の声に耳を傾けることを心がけており、頂いた情報は職員間で共有しています。	・アンケート結果は全職員に周知し、今後の改善点を細かく話し合い、改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	0		・自己評価表はホームページにて公開し、施設内にも掲示しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	0		・外部評価は行えていないため、実施に向けて検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	0	・県市主催の研修会への参加や伝達講習、オンライン研修などを活用しています。 ・事業所内での研修は少ないと感じています。	・研修の年間計画を作成し、引き続き定期的に開催していきます。
適切な 支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	0	・保護者の意向や困りごとの聞き取りを行い、職員間で共有・分析した上で計画書を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	0	・標準化されたアセスメントツールを使用しています。加えて、事業所独自の運動評価も行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
の 提 供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	0	・毎日の朝礼にてプログラム内容と人員配置、進行などを話し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	0	・月ごとに全職員でテーマを決めている。 ・週ごとに担当職員を変更し、プログラムが固定化しないよう工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	1	・長期休暇の際は個別療育や振替利用を促し、子ども・保護者のニーズを聞き取り課題を細かく設定し支援しています。 ・長期休み前後は通常と状態が異なる児童が多いため、特に気を配りながら支援を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	0	・子ども・保護者のニーズに加え、多職種の見解を踏まえて計画案を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	1	・毎日の朝礼にてプログラム内容の確認や役割分担を話し合う時間を設けています。 ・また、その内容はSNSツールを用いて職員間で再確認できるよう工夫しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	0	・支援終了後は送迎や記録の打ち込みで振り返りの時間は取れていないため、翌日の朝礼にて振り返りを行っています。	・緊急性の高いものに関しては、支援終了後速やかに全職員で話し合いを行います。 ・また、翌日には職員会議を設け、詳細を業務日誌に記載します。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	0	・支援記録が正しく記載されているかは多職員で確認し、最終的に管理者が確認しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	0	・半年に一回以上のモニタリングを全児童に行い、計画の見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	0	・基本的な部分を把握しながらも、当事業所の特色を取り入れた支援を行っています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	1	・現場職員も会議に参加できるよう調整を行っています。 ・現場職員の参加が難しい場合は、事前に伝達事項や活動の様子を見発管と共有しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	2	0	・送迎前には必ず下校時間の確認（学校・保護者）を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	0		該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	0	・同事業所内の児発利用児童の場合は、年度末に職員の交代を行い、実際の児童や利用時の様子を確認し、スムーズに移行できるように情報共有を行っています。	・必要に応じて利用児童が通っている園へ連絡を取るなど情報共有を行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	0		該当児童なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	・府内大橋こどもクリニックを訪問し、療育場面の見学や情報共有を行わせてもらいました。	・引き続き専門機関との連携を図っていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	・2024年8月に地域の子どもたちも参加できる夏祭りを開催しました。	・今後も障がいのない児童との交流の場を設けられるよう検討いたします。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	1		・改善を検討いたします。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	0	・連絡帳や送迎時、LINEなどを用いて、児童の情報共有を行っています。	・保護者が相談しやすくなるよう、業務的な連絡以外にもコミュニケーションを図ります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	1		・今後は外部講師を招いての実施を検討します。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	0	・契約時に必ず説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	1	1	・保護者から相談があった場合は、必要に応じて参考文献をお渡ししたり、時間を設けて事業所での相談も行っています。	・相談しやすい関係を築けるよう心がけます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2		・改善を検討いたします。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	0		・苦情に対しては、迅速に職員間で周知し、適切に対応ができるよう努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	1	・毎日のSNSへの投稿やウォルトだよりを発行し、ウォルトの療育内容の発信や自宅での自主練習なども提案しています。	・定期的に発行します。
	35	個人情報に十分注意している	2	0	・SNSへの投稿の際は個人が特定されないようモザイクなどの処理を必ず行っています。	・SNSへの投稿や保護者と児童の様子を共有するために、スマートフォンでの撮影を適宜行っています。個人情報の取り扱いには十分気を付けます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2	0	・視覚的情報を用いた声掛けや、見通しを持てるような声掛けを心がけています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	0	・2024年8月に地域住民も参加できる夏祭りを開催しました。	・今後も地域住民を招待できるイベントの企画を検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	0	・保護者へ契約時に必ず説明を行っています。	・職員間でも周知徹底していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	0	・定期的に避難訓練を実施し、関係機関への報告も行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	0	・虐待防止研修は定期的に事業所内で行っています。	・虐待防止委員会を設置し、ケース会議等を適宜行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	0	・研修などで周知しています。	・該当するケースはないが、研修などで職員の知識研鑽に努めます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	0		・食事やおやつの提供はありませんが、開業時に医師による対応研修を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	0	・ヒヤリハット発生時は直ちに報告書を作成し、朝礼にて対策を踏まえた話し合いを行い、全職員へ回覧し、再発防止に努めています。	